

舞鶴中ブロック統合校小中連携校の教育目標について H23.3.25

～ めざす③つの子ども像と教育活動⑩の重点 ～



学校教育目標

国際都市福岡の中心に位置する学校に学ぶ児童生徒としての自覚や誇りを持ち、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性や社会性、国際性を育て、将来に夢と希望をもって、たくましく生きる人間の育成

めざす子ども像

- 確かな学力・豊かな心・健やかな体等の生きる力を身につけ、社会の一員としての自覚をもって行動できる子ども
- 郷土福岡の自然・歴史・伝統・文化を愛し、守り伝える子ども
- アジア・世界の中の福岡という視点をもって様々な価値観を積極的に理解し、他者や社会、自然や環境とともに生きることのできる子ども

学校づくりの3つの柱

- 福岡の教育をリードし、子どもが確かに育つ学校をつくります
(施設一体型小中連携教育の強みを最大限に発揮し、安全安心な学校)
- 個に応じた指導を行い、一人ひとりを大切に作る学校をつくります
(一人ひとりのニーズに応じた多様な教育を実践する学校)
- 福岡の発展を支え続けてきた地域の宝となる学校をつくります
(歴史と伝統に夢と誇りを持ち、世界に開かれた国際都市福岡の中心的存在となる学校)

教育活動推進における重点

1	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ・掃除、自学、立志の徹底 ・1/2成人式、立志式の実施 ・9年間を見通した「学習規律」「生活のきまり」
2	確かな学力	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時数の確保(長期休業日を授業日に組み込む検討も含めて) ・基礎基本の徹底(国語、算数・数学を中心に、学び残しのない指導) →(個に応じた指導、定期テスト、昼休み後や放課後の指導など) ・言語活動の充実 →(「読む」「書く」「聞く」「話す」の指導の積み重ね) ・活用力の育成 →(教科や総合的な学習の時間等において問題解決学習を推進) ・英語力の育成 →(外国人指導者常駐の英語ルーム、小中一貫のカリキュラムをもとに「使える英語」を指導) ・ICTを活用した授業づくり(電子黒板、教材提示装置(書画カメラ)など) ・環境教育の充実 →(地熱、太陽光発電、雨水利用など) ・一人一人のニーズに応じた教育 →特別な支援を必要とする子どもの特性を理解し、よさを伸ばす授業づくり
3	豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳性の育成 →(自立・自律、自他の尊重など) ・読書活動の推進 →(全校朝読など) ・いたわりと思いやりの心の育成 ~ユニバーサル教育~ →(様々なひととふれあう体験活動の重視)
4	健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> ・体力の向上 →(全学年体力テスト実施、9年間の継続的な運動習慣、通年水泳可能) ・食育の推進 →(継続的な食についての指導、給食・朝ご飯喫食100%など)
5	郷土愛	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土に関する学習の積み重ね →(郷土の「ひと・もの・こと」の教材化など) ・国際教育の推進 →(国際交流・体験活動の充実など)
6	学び合い	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割りグループ活動、小中の他学年との交流、(児童生徒の主体的な外遊び交流も含む) ・すべての子どもが認め合い、支え合い、学び合える「交流および共同学習」の充実
7	小中連携教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・9年間を見通した系統的な指導(小中で共通理解・共通実践) ・小中教職員による協働指導(チームティーチング、部活動など) ・小中児童生徒の交流(児童会・生徒会の交流、給食交流も含む)
8	家庭や地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携 「共育(ともい)ノート」(連絡帳)活用、メディアリテラシー育成 ・地域との連携 学校外の方々の評価も活かした学校運営、地域の学習支援体制づくり

9 小中連携校の特色を生かした学校行事

- ### 行事の実施形態
- ・小中合同(運動会、美化活動など)
 - ・小中ごと(入学式、卒業式など)
 - ・前期、接続期、後期ごと(集会や朝会など)
 - ・学年ごと(社会科見学、修学旅行など)

- ### 主要行事の配置
- ・運動会
 - ・修学旅行(小6・中2)
 - ・自然教室(小5・中1)
 - ・1/2成人式・立志式(小4・中2)
 - ・合唱コンクール 等

10 小中連携校の特色を生かした時制

- ### 節目開始時刻の全校統一
- 始業、1校時、3校時、昼休み、5校時など
- ### 朝の活動の全校統一
- 朝の身がまえ・心がまえの確立
朝の会→朝清掃→自学(朝読)
- ### 体力向上の重視
- 継続的な運動時間の設定
- ### 基礎基本の徹底の重視
- 昼休み後の全校パワーアップタイム(15分間)
月2回金曜日の放課後学習
(金曜のみ小学校は午前中5時間授業)